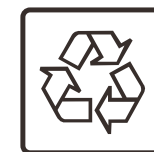
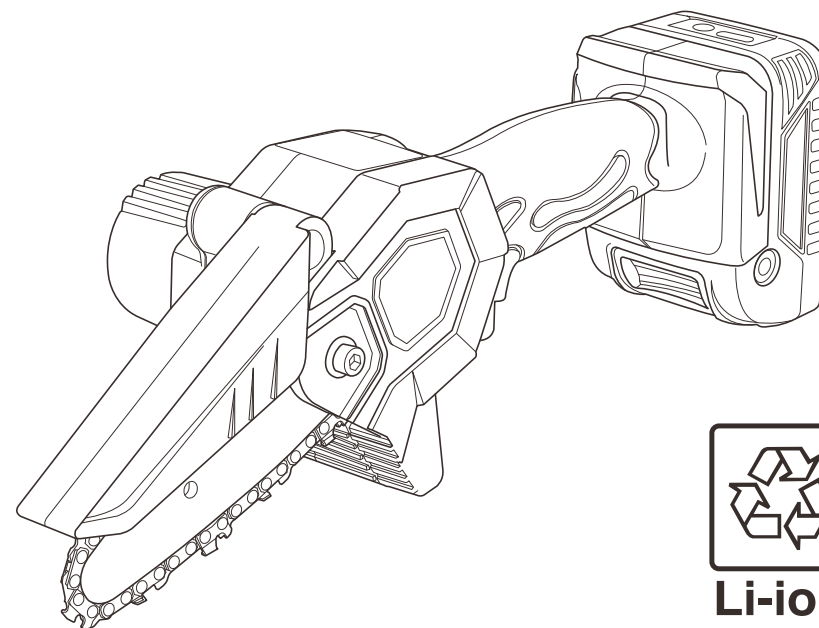


ハンディチェーンソー YDCHC-1415 取扱説明書



Li-ion

バッテリーパックは
リサイクルへ

家庭用

本製品は家庭用です。業務用には
お使いにならないでください。

このたびはハンディチェーンソーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「⚠警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「⚠警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

⚠ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。二重絶縁品を除き、必ずアースを接地してください。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼してください。
- ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の最初の作業のときは作業前に1分以上動作させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- ・ コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- ・ 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- ・ 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- ・ 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

ハンディチェーンソーご使用上の注意

- 先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ハンディチェーンソーとしてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 使用中は肌の露出を避け、長袖長ズボン等、作業に適した服装をしてください。
- 本機の持ち運びや保管の際は必ずバッテリーパックを抜き、チェーンカバーを付けてください。
- チェーンカバーを付けたまま本機を動作させるとカバーが傷つくので動作の前にチェーンカバーは外してください。
- 使用前にソーチェーンの張りが適正であることを確認してください。
- 使用前に人がいない方向にチェーンソーを向けて空転させ、本機の振動やソーチェーンの回転に異常がないかを確認してください。
- 本機の使用用途は樹木や竹の切断です。プラスチック、石材、鉄工には使用しないでください。
- 使用中は安全のため本機の周りに人を近づけないでください。
- 切断した枝木の落下方向に道具などを置かないでください。
- 子どもやペットが側にいる状況では使用しないでください。
- 子どもや不慣れな方には絶対に使用させないでください。
- はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。また、肩の高さより高い位置で使用しないでください。
- 雨中や雨上がり、散水直後の作業はしないでください。
- 雨上がりなど足元が滑るような場所や急傾斜地などでは使用しないでください。
- 本機動作中は決してソーチェーンに手や顔を近づけないでください。
- 本機を固定して使用したり、逆さにして使用しないでください。
- テープや紐などでスイッチや安全ボタンを固定しないでください。
- 使用中に枝にソーチェーンが食い込んだときはそのまま無理に外そうとせず、誤動作防止のためバッテリーパックを抜いてから外してください。
- 硬い枝を切断時に強い反発力（セットバック）が生じる可能性があります。不意の事故を防ぐためしっかり本機を保持してください。
- ガイドバー先端での切断はしないでください。また動作中、先端部を枝や地面に触れさせないでください。本機が衝撃ではね返りけがの原因になります。
- 動作中、モーターを冷却するための空気が本機モーターの風穴を通ります。故障の原因になるので風穴を塞がないようにしてください。
- 使用前には必ずチェーンオイルを差してください。
- 本機を直射日光のあたる場所や温度、湿度の高い場所に放置しないでください。
- 使用中、本機の異常に気付いた時は直ちにスイッチを切りバッテリーパックを抜いて使用を中止して販売店または弊社にご連絡ください。

仕様明細

■本体の仕様

型 式	YDCHC-1415
電 圧	14.4V
チェーンスピード	6.1m/s
最大切断能力	枝木や竹など 直径100mmまで
本体寸法	335×110×105mm
切断能力目安	35×35mm角材 約100本
質 量	1.1kg (バッテリーパックを含む)
ソーチェーン仕様	バーの長さ10cm、ピッチ1/4"、ゲージ043(1.1mm)、コマ数28

■充電器の仕様

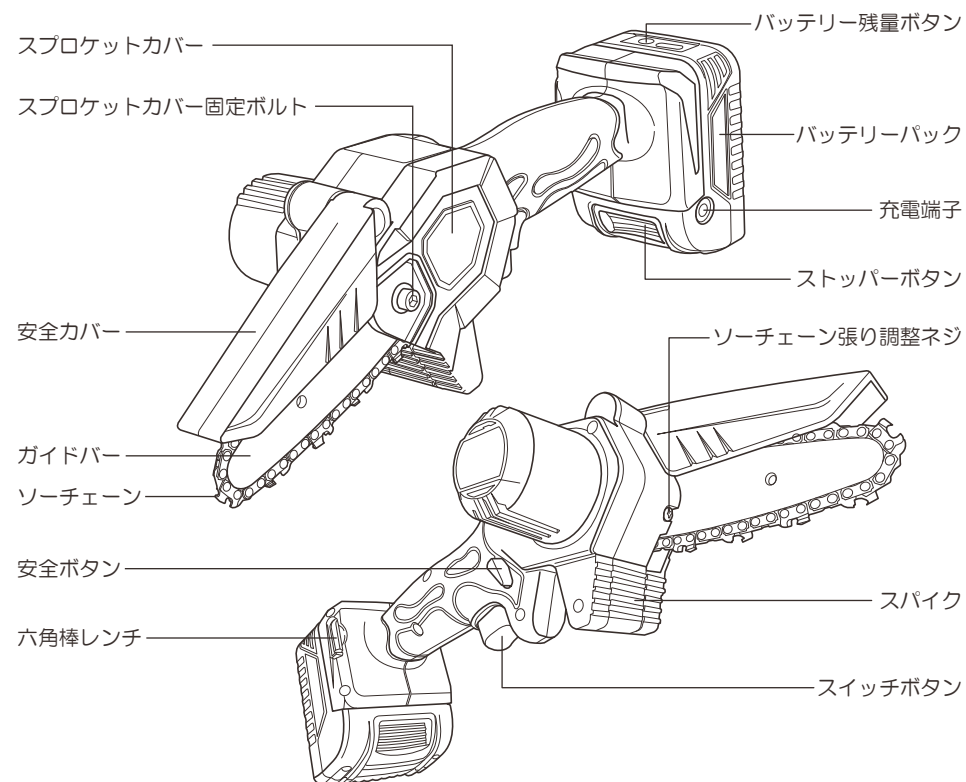
型 式	LBC-1415A
電 圧	AC-100V
周 波 数	50/60Hz
入 力	100-240V~50/60Hz 0.6A
出 力	DC17.1V 1000mA
充電時間	約90分
質 量	0.07kg

■バッテリーパックの仕様

型 式	LBP-1415A
電 池	リチウムイオン
電 圧	DC14.4V
容 量	1.5Ah
出力電圧	DC14.4V
質 量	0.3kg

※本機は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

主要各部の名称



付属品の明細

バッテリーパック	充電器	ソーチェーン
		 本体装着済み
チェーンカバー	チェーンソーオイル	六角棒レンチ
		 本体裏面に収納

ご使用前準備

■バッテリーパックの取外し、取付け方法

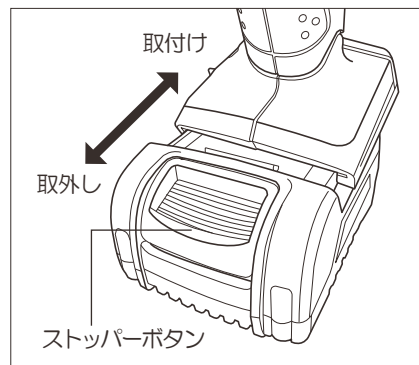
●取外し

- 中央のストッパーボタンを押しながら引いてください。

●取付け

- バッテリーパックの溝に本体を合わせて、ストッパーボタンは押さずにそのままカチッと音がするまで差し込んでください。

☞差し込み後は、確実にセットされていることを確認してからご使用ください。確実にセットされていない場合、使用中にバッテリーパックが落下して思わぬ事故の原因となります。



■バッテリーパックの残容量表示ランプについて

- バッテリー残量ボタンを押すと、バッテリーの残容量に応じたランプが点灯します。

●●●	電池残量 約80～100%
●●○	電池残量 約30～80%
●○○	電池残量 約30%以下
○○○	電池残量 0%

■リチウムイオン電池の使用可能温度および充電可能温度について

- 本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池の特性として10℃以下および30℃以上の環境下ですと電池の性能が下がって使用出来なくなります。充電も出来なくなるので当てはまる場合は充電可能温度になってから充電をしてください。

冬期など周囲の温度が10℃未満	充電できません
外気温10℃～20℃の状態	充電可能です
外気温20℃前後	充電が効率的に行われます
外気温20℃～30℃の状態	充電可能です
夏期など周囲の温度が30℃以上	充電できません
使用直後でバッテリーパックが熱いとき	充電できません

■接続端子について

- バッテリーパックと本体の接続端子はそれぞれ4つと3つで対になっていませんが、これは設計上の仕様です。

■充電方法について

- ①充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。充電器のランプが緑色に点灯します。(充電待機状態)
- ②充電器の充電端子をバッテリーパック側面の充電端子に差し込んでください。充電器のランプが赤色に変わります。(充電中)
- ③約90分で充電器のランプが緑色に変わったら充電完了です。(充電完了)
- ④充電器の電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックから充電器の接続端子を抜いてください。

■充電器のランプ表示について

	緑色	充電器を電源に差し込んだ状態 充電完了した状態
	赤色	充電中の状態

■バッテリーパックを長持ちさせるには

- 保管するときは本体からバッテリーパックを外して保管してください。
- 長期間使用しない場合は、満充電にした状態で保管してください。

☞力が弱くなってきたと感じたら充電してください。電池残量0%の状態はバッテリーパックへの負荷が大きく電池寿命が短くなります。

☞冬期や使用直後など、充電可能な温度範囲外では充電が効率的に行われません。バッテリーパックを周囲温度が20℃くらいの場所にしばらく置いてから充電を行ってください。

■ソーチェーンの張り調整方法

⚠ 警告

- ソーチェーンの張り調整時は必ずバッテリーパックを抜いて不意に動作しないようにしてください。
- 作業直後はソーチェーンが非常に熱くなっています。火傷の恐れがあるのですぐには触らないでください。
- ソーチェーンは張りすぎるとガイドバーとの摩擦で回らなくなります。逆に緩すぎるとガイドバーから外れてしまいます。常に適切な張り具合になるよう調節してください。

●ソーチェーンは熱くなると伸びる性質があります。作業後の熱い状態で張り調整をするとソーチェーンが冷えて元の長さに戻ったときに締めすぎになってしまいます。張りの調整は必ず使用前に行ってください。

①まずバッテリーパックを本体から抜いておいてください。

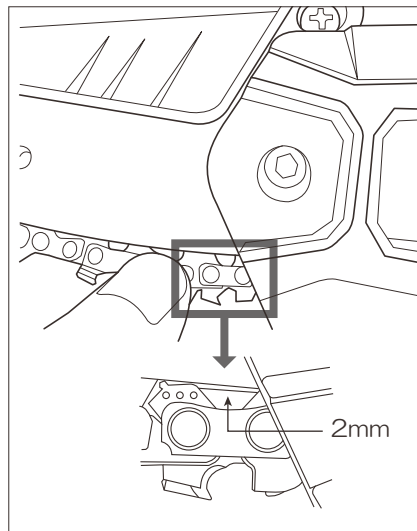
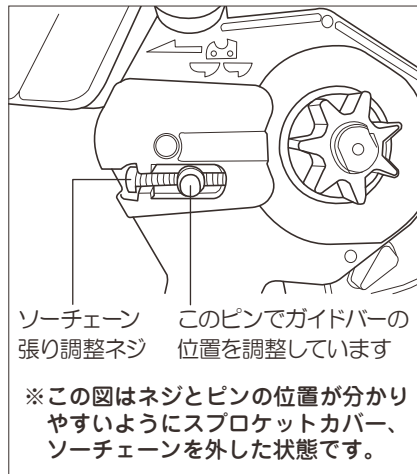
②ガイドバー根元のソーチェーン張り調整ネジをドライバーで回すとガイドバーが前後してソーチェーンの張りを調整できます。

Ⓐネジを右回しでソーチェーンが締まります。

③ソーチェーンを指でつまんでガイドバーとの隙間が2mm程度になるように調整してください。

Ⓑ2mm以下に締めすぎるとガイドバーとの摩擦でソーチェーンが回らなくなります。逆に2mm以上に緩むとソーチェーンがガイドバーから外れてしまう可能性があります。

④ソーチェーンとガイドバーの隙間は最初に測ったら位置を把握してそれ以降はスプロケットカバーの模様を目印にすると張り具合の把握が楽になります。



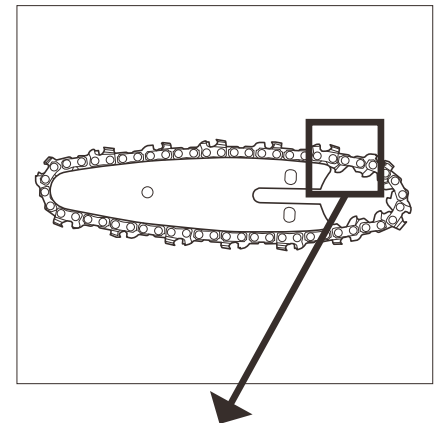
■ソーチェーンの交換について

⚠ 警告

- ソーチェーンの交換時はバッテリーパックを抜いて不意に動作しないようにしてください。
- ソーチェーンは向きを逆に取り付けると全く切れません。取扱説明書（本紙）に従い確実に取り付けてください。
- 作業直後はソーチェーンが非常に熱くなっています。火傷の恐れがあるのですぐには触らないでください。
- ソーチェーンの交換はケガをしないため必ず手袋を着用してください。
- ソーチェーンは張りすぎるとガイドバーとの摩擦で回らなくなります。逆に緩すぎるとガイドバーから外れてしまいます。常に適切な張り具合になるよう調節してください。

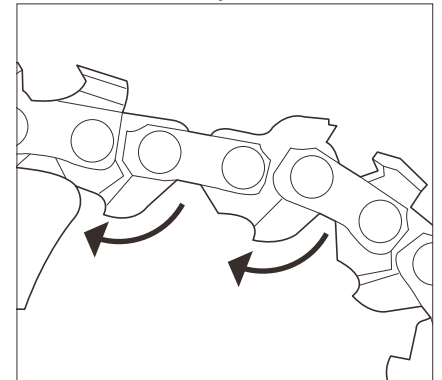
●ソーチェーンの取り外し

- ①本機からバッテリーパックを取り外してください。
- ②本体付属の六角棒レンチでスプロケットカバー固定ボルトを外したらスプロケットカバーを取り外してください。
- ③ガイドバーの先端を持って手前側に動かすとガイドバーごとソーチェーンが外れます。
(右図)
- ④ガイドバーからソーチェーンを外してください。



●ソーチェーンの向きについて

- ソーチェーンは向きがあり、逆向きに取り付けると刃が食い込まないので全く切れなくなります。
右図のようにソーチェーンの内側の山を見て右側が曲線なのが正しい向きとなります。

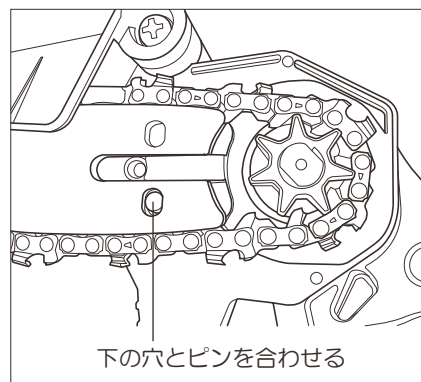
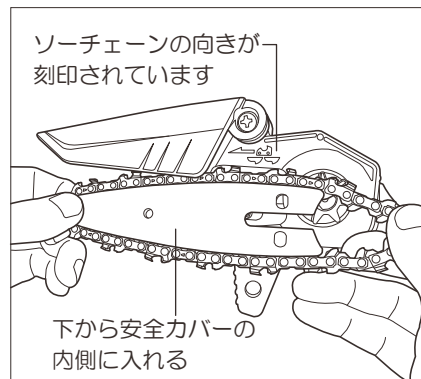


●ガイドバーの向きについて

- ガイドバーには裏表の向きはありません。

●ソーチェーンの取り付け

- ①あらかじめソーチェーン張り調整ネジを左回して緩めてピンを最初の位置から1つ分、右に寄せておいてください。(9ページ参照)
- ②新しいソーチェーンの向きを確認してください。(前ページ参照)
- ③先端からガイドバーの溝にソーチェーンを入れてガイドバー全体にソーチェーンを合わせます。
- ④ガイドバーの左端とソーチェーンの右端を持ってそのまま安全カバーの内側に入れてください。(右図参照)
- ⑤ソーチェーンの右側をスプロケットに掛けたら、そのままガイドバーの下の方とピンを合わせてください。(右図参照)
- ㊦ガイドバー下の穴とピンが合わないときは一度ガイドバーを外して張り調整ネジを緩めてピンを更に右に寄せてください。
- ⑥ガイドバーの下の方とピンが合ったらその状態でガイドバーを固定しながら張り調整ネジを右回して締めてピンを左に寄せていってください。ピンが左に寄るとガイドバー全体も左に少しずつ動いてソーチェーンが張っていきます。
- ⑦ガイドバーから外れなくなるまでソーチェーンを張ったらスプロケットカバーを付けてスプロケットカバー固定ボルトを締めてください。
- ⑧バッテリーパックを付けてスイッチを押して軽く動作させてください。動作させることでスプロケットとソーチェーンが完全に噛み合います。
- ⑨最後にバッテリーパックを外してソーチェーンの張りを確認してください。

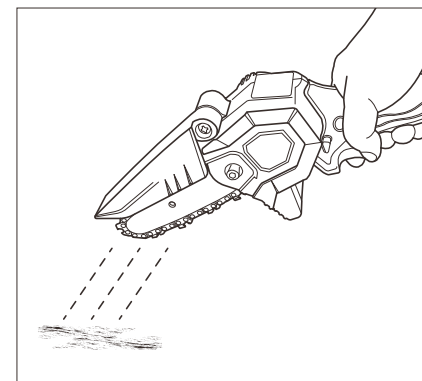
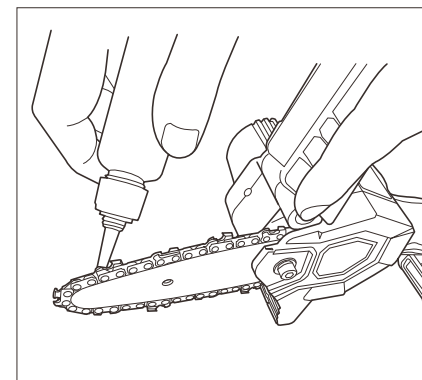


■チェーンソーオイルの塗布について

⚠ 警告

- 付属のチェーンソーオイルが無くなった場合は市販のチェーンソーオイルをご使用ください。
- 使用前に必ずチェーンソーオイルを塗布してください。
- チェーンソーオイルは炎天下の車中など高温になる場所に置かないでください。
- オイル容器は閉まりが不十分だと漏れ出すことがあるのでしっかり閉めてください。

- 付属のオイル容器は中のチェーンソーオイルの液漏れ防止のため二重に密閉されています。容器側のシールを外し、キャップ内の紙の蓋はピンセットやラジオペンチ等で刺してそのまま掴んで取り外してください。
- チェーンソーオイルはチェーンとガイドバー間の摩擦を軽減するために塗布します。オイルを塗布しないと摩擦熱で高温が発生して本機の故障やソーチェーンの摩耗に繋がるので必ず塗布してください。
- 作業前にソーチェーンの隙間からガイドバーの溝に入るように数滴、垂らしてください。
- 塗布が済んだら地面に向けて本機を空転させてオイルをソーチェーン全体に行き渡るようにしてください。地面にオイルの飛散跡が付けば完了です。
- オイル塗布は作業前に1度行うくらいが最適です。連続作業時は充電のタイミングで行ってください。
- ㊦作業中は常に細かいオイルの粒子が飛散するのでオイルが付着して汚れても良い服装で作業をしてください。



■チェーンカバーについて

- ソーチェーンによる不意の事故を防ぐため、持ち運びや保管時は必ず付属のチェーンカバーを付けてください。
- 本機を動かすときはチェーンカバーを外してください。付けたまま動かすとソーチェーンがチェーンカバー内で食い込んでしまいチェーンカバーが外れなくなります。

ご使用方法

⚠ 警告

- 使用前にソーチェーンの張りが適正であることを確認してください。
- 作業前に人がいない方向にソーチェーンを向けて空転させ、本機の振動やソーチェーンの回転に異常がないかを確認してください。
- はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。また、肩の高さより高い位置で使用しないでください。
- 雨中や雨上がり、散水直後の作業はしないでください。
- 雨上がりなど足元が滑るような場所や急傾斜地などでは使用しないでください。
- 本機動作中は決してソーチェーンに手や顔を近づけないでください。
- 作業中に枝にソーチェーンが食い込んだときはそのまま無理に外そうとせず、誤動作防止のためバッテリーパックを抜いてから外してください。
- 硬い枝を切断時に強い反発力（セットバック）が生じる可能性があります。不意の事故を防ぐためしっかり本機を保持してください。
- ガイドバー先端での切断はしないでください。また動作中、先端部を枝や地面に触れさせないでください。本機が衝撃ではね返りけがの原因になります。
- 使用中、本機の異常に気付いた時は直ちにスイッチを切りバッテリーパックを抜いて使用を中止して販売店または弊社にご連絡ください。

（事業者の方へ）

樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令：労働安全衛生法 第59条3項

安全衛生特別教育規定

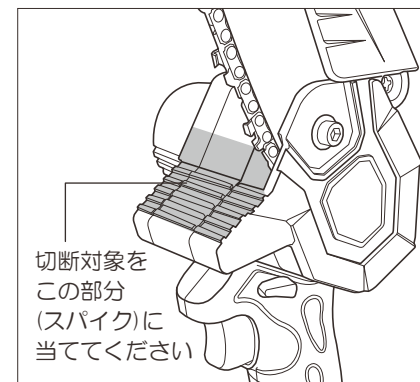
労働安全衛生規則 第36条8の2

■スイッチの操作

- 安全ボタンを押しながらスイッチを押すと本機が動き始めます。スイッチを押している間は安全ボタンは離しても構いません。
- 安全ボタンは左右どちらからも押すことができます。

■切断方法

- ①片手で本機を持ち、もう片方の手で枝木が動かないように固定します。
- ②安全に留意し、切断箇所から離れた箇所を掴んでください。
- ③本機のスイッチを引いてソーチェーンが回転したらスパイク部分で枝木を支えるようにしてスパイクとソーチェーンの間の直角に枝木を挟んで少しずつ枝木を切っています。
- ④無理に力を入れても切断時間は変わりません。力を入れずソーチェーンが切り進めるまま切断するのが効率的な切断方法です。
- ⑤一度切り始めたら途中で止めないで枝木を最後まで切断してください。
- ⑥長い枝木を切断する場合は根元から切らずに枝の先の方から2～3回に分けて切ると切断後の枝木が短くなりその後の処理が楽になります。



■竹の切断について

- 本機は竹の切断も可能です。竹は切断面の外周に表皮の繊維が残しやすいのであらかじめご了承ください。
- 太い竹を切る時は切断途中の竹の重みでソーチェーンが挟まれて止まる事があります。その際は無理に動かさず一度スイッチを切って本機を竹から離してください。
- 竹などの垂直に生える物を切る場合は切断中に自分の方に倒れてこないように細心の注意を払ってください。

保守、点検

⚠ 警告

- 保守、点検、部品の交換では必ずスイッチを切り、バッテリーパックを抜いてください。不意の起動によりけがの原因になります。

■バッテリーについて

- ①バッテリー容量が少なくなるとモーターが停止します。速やかに充電してください。
- ②バッテリーパックが過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。作業を中断し、本体からバッテリーパックを外して冷却してください。
- ③本体が過負荷状態になりますとモーターが停止する場合がありますが、これは保護機能によるもので故障ではありません。この場合いったんスイッチを放し、過負荷にならないように使用してください。

■ソーチェーンのお手入れ

- ソーチェーンに切りくずなどが付いていたら取り除き、布等で水気を拭き取ってください。
- ソーチェーンが挟まるガイドバーの溝を中心にチェーンオイルを塗布してください。

■本体のお手入れ

- 各部のネジが緩んでいないか点検して、緩んでいたら締め直してください。
- 作業後は切りくずや樹液などで本体が汚れますので乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れがひどい時は薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

■保管について

- 子どもの手の届かないところに保管してください。
- 錆びの原因になるので保管の際は本機に付いた水分はしっかり拭き取ってください。その上で湿気の多いところでは保管しないでください。
- 劣化の原因になるので直射日光のあたる場所では保管しないでください。

別売品について

- 別売部品についてはお近くの販売店にてご注文をしてください。

品 名	JANコード
ソーチェーン SCN-100	4954008992071
バッテリーパック LBP-1415A	4954008992057

よくあるご質問

充電できなくなりました

- ACアダプタがコンセントに差し込まれているか確認してください。
- ACアダプタ差し込み口が汚れていないか確認してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲内か確認してください。
- 使用直後でバッテリーパックが熱いと充電できません。
- 上記のいずれにも当てはまらない場合は故障の可能性があります。お問い合わせの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

思うように枝が切れないのですが

- ソーチェーンの向きを確認してください。逆向きだと全く切れません。
- しなやかな枝だとソーチェーンが滑ってなかなかチェーン刃が食い込みません。片手でしっかり枝を握って枝が刃から逃げないようにしてください。
- 以前は枝を切れていたが今は切れないという場合はソーチェーンが摩耗している可能性があります。ソーチェーンは消耗品ですので新しいソーチェーンをお買い求めください。

ソーチェーンがすぐ外れてしまいます

- ソーチェーンがゆるいと外れてしまうことがあります。ソーチェーン張り調整ネジで適切な張り具合に調整してください。
- ソーチェーンは使う内に少しずつ伸びていきます。ソーチェーン張り調整ネジで調整しきれない場合は寿命ですので新しいソーチェーンをお買い求めください。

付属のオイル容器内の紙の蓋が取れないのですが

- オイル容器内の紙の蓋は輸送時のオイル漏れ防止のため付いています。こちらは牛乳瓶のフタの要領で真ん中をラジオペンチやピンセット等で突き刺してそのまま掴んで外してください。

本体内部から火花が見えるのですが

- モーターの特性として火花が見えることがありますが、使用には問題ありません。

動作中に焦げ臭い匂いがした、煙が出た

- モーターが焼き付いている可能性があります。ただちにスイッチを切り本体を冷ましてください。